

平成 29 年度事業報告書

当センターの設置目的である「豊かで活力ある長寿社会の実現」に向け、関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進するための諸事業を実施しました。

人生 100 年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、急激な高齢化社会の進行や人口減少化の中、高齢者自らが地域の一員として、地域社会を支えていくことが求められています。センターでは、時代に即応した役割を果たすため、県の総合 5 か年計画「しあわせ信州創造プラン」で目指す「人生二毛作社会」実現の施策とも協調して、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指し、事業を進めてきました。

情報誌発行事業では、シニアのための情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

ホームページ運営事業では、センターの事業実施状況や募集案内、支部・地区賛助会の活動状況等をタイムリーに掲載し、「人生二毛作社会」の推進に有効な取組等が、多くの方に届くよう情報提供に努めました。

いきいき中高年社会貢献活動支援事業では、中高年者の社会参加活動を推進するため、地域社会との関わりを深める活動に支援を行い、居場所と出番がある長寿社会の形成を推進しました。

人生二毛作社会推進事業では、市町村、社会福祉協議会等関係団体との連携・協働により、シニア層の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティングを開催するとともに、高齢者地域活動会議運営事業では、関係機関が参集し情報交換等を行う「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を促す取組を推進しました。

長野県シニア大学運営事業の「一般コース」は、高齢者の仲間づくりと知識・教養を高めながら、地域と積極的に関わる人材を育成することに重きをおいた大学運営を行い、29 年度は 939 人の皆様が卒業されました。

また、地域課題を的確に捉え、その課題を解決するための専門的なスキルを持った人材を養成することを目的に、本年度からモデルとして開設した「地域プロデュース専門コース」は、44 人の皆様が修了されました。各地域で抱える様々な課題解決に向け、センターとも連携しながら、積極的に実践活動を行って参ります。

信州ねんりんピック開催事業では、高齢者の文化・芸術とスポーツの祭典「信州ねんりんピック」を駒ヶ根市及び茅野市を会場に開催し、県下各地から昨年を上回る延べ 3,000 人の高齢者等の皆様に参加をいただきました。

また、第 30 回全国健康福祉祭あきた大会へ長野県選手団を派遣し、全国の方々とふれあいと交流を深めるなど、生きがいと健康づくりを推進しました。

賛助会については、各地区賛助会や活動サポーターを通じ、個人会員、法人会員の加入促進に向けた取組を引き続き行った他、会員が行う社会参加活動など多様な活動を支援するため、グループ活動経費の一部を助成しました。

高齢者社会参加促進事業では、6 名の「シニア活動推進コーディネーター」を本部及び 5 支部に配置し、情報の収集・提供等を通じて従来にはない多様な組織との連携強化により、高齢者の社会参加を支援しました。

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ってきました。

また、市町村・市町村社協・図書館・公民館等に配付し、センター事業のPRとともに社会参加活動の啓発、賛助会員制度の周知等を行うとともに、情報誌企画・編集委員会を開催し、情報誌の内容充実のための検討を行いました。

ア 誌名 「信州りらく」

イ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

ウ 発行部数 4月 5,200部 7月 5,200部 10月 5,200部 1月 5,200部

エ 配布先 賛助会員、市町村、図書館、公民館、公的病院等

オ 支部通信員の設置 センター各支部に配置の活動サポーターから、地域の身近な情報を提供していただくとともに、読者の声を情報誌の編集に反映させました。

② 広報事業

報道機関への情報提供を積極的に行う等、センターの実施事業や高齢者の社会参加の啓発を推進しました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① 広報啓発事業

センターの役割や事業体系・内容等を紹介したパンフレットや、昨年作成した「人生二毛作実践事例集」を配布し、広く県民等に周知するとともに、賛助会員の加入促進に向け、加入案内パンフレットを作成・配布し、シニア大学の学生や県民等へのPRに努めました。

② ホームページ運営事業

ホームページに、センターの事業、募集案内、イベント、支部・地区賛助会の活動状況等に関する情報をタイムリーに掲載し、センターへの理解や「人生二毛作社会」の推進に有効な取組等が、多くの方に届くように情報発信を行いました。

③ 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に功績のあった個人及び団体を、信州ねんりんピック式典の席上で表彰し、賛助会員活動の一層の推進を図りました。

ア 期 日 平成29年12月2日（土）

イ 場 所 駒ヶ根総合文化センター（駒ヶ根市）

ウ 受賞者 個人8人、団体10グループ

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティングを県下10支部で11回開催（延べ1,550人参加）する等、センター支部が行う自主的な活動を促進することを目的に実施しました。

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。

▶ 助成額 14 グループ 1,626,944 円

③ 高齢者地域活動会議運営事業

人生二毛作社会を推進させるため、市町村、市町村社協、ハローワーク等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーター等との連携を図りながら、各支部ごとに「ネットワーク会議」を開催しました。

2 人づくり

人材育成事業

長野県シニア大学運営事業

社会参加意欲の醸成とその実践力を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

(1) 一般コース

仲間づくりや教養を高めながら、高齢者の社会参加活動のきっかけをつかみ、地域社会の一員としての自覚をもって地域と関わる人材を養成するため、10 学部において実施しました。(2 年制)

▶ 実施内容 授業時間等 年 60 時間(4 時間×15 日)

(1 学年 教養講座 24 時間、実技講座 20 時間、実践講座 16 時間)

(2 学年 教養講座 20 時間、実技講座 20 時間、実践講座 20 時間)

▶ 授業料 1 人年額 10,000 円

▶ 募集定員 2,400 人(1 学年 1,200 人、2 学年 1,200 人)

1 学年入学実績 904 人、2 学年進級者数 981 人(年度当初人数)

▶ 卒業者数 939 人

(2) 専門コース(地域プロデュース専門コース)

様々な地域課題に向き合って解決する“発想する力、連携・協働する力、合意形成力、コーディネート力”などのスキルを持ったプロデューサー的な人材(仕掛人)を養成するため、新たに専門コースをモデルとして長野学部に開設しました。(1 年制)

▶ 実施内容 学習テーマ

・コミュニティデザイン(地域創造)・ビジネスデザイン(社会的起業)

・ライフデザイン(創造的な生き方)

授業時間等 年 35 時間(12 日)

▶ 授業料 1 人年間 26,000 円

▶ 募集定員 30 人(1 学年)入学者 45 人

▶ 修了者数 44 人

(3) シニア大学運営委員会において、カリキュラム充実のため、目指す姿や学習のねらい等を明らかにする「講座概要」の策定や一般コースの対象者年齢の引下げ等について検討を行いました。

開催日 平成 29 年 11 月 6 日(月)

(4) 社会活動推進員の講座運営能力の向上を図るため、研修を実施しました。

開催日 平成 29 年 10 月 16 日 (月)

(5) シニア大学を広く P R し、定員の確保を図るため学校案内を作成、配布しました。

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

高齢者による文化・芸術活動やスポーツ活動などに関する多彩なイベントを開催し、生きがいと健康づくりを推進するため諸事業を実施しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭典及びスポーツ交流大会を、県及び各種団体等との共催により開催し、延べ 3,000 人の皆様に参加をいただきました。

ア 文化・芸術交流大会

(ア) 式典、交流プログラム、いきいきシニア自慢市、ステージ発表、意見交換会等

▶ 期 日 平成 29 年 12 月 2 日 (土)

▶ 場 所 駒ヶ根総合文化センター

▶ 内 容

<式典>

・社会福祉表彰(知事表彰) : 個人 4 人、1 団体

・長野県長寿社会開発センター表彰(再掲): 個人 8 人、団体 10 グループ

<交流プログラム>

・人生二毛作を実践している、このまちの名物シニアの紹介

<いきいきシニア自慢市>

・様々な人生二毛作活動を行う、32 の団体・グループの活動状況の展示と紹介

<ステージ発表>

・南信 3 地区の賛助会員グループ等によるステージ発表

<みんなで意見交換会>

・「人生 100 年時代の私の夢」と題し、参加者全員による意見交換会

<クロージング>

・赤穂南小学校金管クラブによる演奏と富くじ抽選会

[来場者 約 800 人]

(イ) 高齢者作品展

▶ 期 日 平成 29 年 12 月 1 日 (金) ~ 12 月 3 日 (日)

▶ 場 所 駒ヶ根総合文化センター

▶ 内 容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真

出品数 257 点

[来場者 3 日間計 約 1,200 人]

(ウ) 囲碁・将棋大会

▶ 期 日 29 年 12 月 2 日 (土)

▶ 場 所 駒ヶ根総合文化センター

[参加者 約 100 人]

イ スポーツ交流大会

▶ 期 日 平成 29 年 9 月 30 日 (土)

▶ 場 所 茅野市運動公園

- ▶ 内 容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ（10 種目） [参加者 約 900 人]

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

「秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪」をテーマとした第 30 回全国健康福祉祭あきた大会「ねんりんピック秋田 2017」へ選手を派遣し、全国の高齢者とのふれあいと交流を図りました。

ア 期 日 平成 29 年 9 月 9 日（土）～12 日（火） 4 日間

イ 場 所 秋田県秋田市ほか

ウ 参加種目

〈スポーツ交流大会〉 15 種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ウォークラリー、ソフトバレーボール、ダンススポーツ、サッカー、ミニテニス

〈文化交流大会〉 3 種目

囲碁、将棋、健康マーじゃん

〈関連イベント〉 美術展、シンポジウム等

エ 本県の選手団 136 人（監督・選手 121 人、同行者 15 人）

オ 主な成績 卓球 優秀賞（団体）

ゲートボール 優秀賞（団体）

ソフトバレーボール ブロック準優勝（団体）

ミニテニス 女性高齢者賞（個人）

写真の部 銅賞（個人）

(2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、グループ活動への助成、加入促進キャンペーンの実施等により、会員への活動支援と入会促進を推進しました。

① 賛助会員募集・活動推進事業

地区賛助会・支部との連携や活動サポーター研修会の開催により、会員募集活動等を推進しました。

また、賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を作成・配布しました。

ア 活動サポーター研修会

- ▶ 開催期日 平成 29 年 7 月 24 日（月） 参加者数 41 人

イ 賛助会員等の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

- ▶ 個人会員 2,926 人 法人会員 72 団体
- ▶ 活動グループ数 177 グループ 2,162 人
- ▶ 割引協力店 273 施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

▶ 交付額 1,944,000 円

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20 人）と支部事務局長（10 人）から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会活動の推進、センター事業等のあり方、社会参加活動等について意見交換するとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

▶ 連絡協議会 2 回開催

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

▶ 助成額 196 グループ 2,553,670 円

なお、社会貢献活動加算は、88 のグループに対して助成しました。

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業

賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進しました。

▶ 助成額 28 グループ 280,000 円

4 コーディネートの仕組みづくり

活動推進事業

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する

「シニア活動推進コーディネーター」6 名を配置し、ネットワーク会議等の開催や関係団体との連携により、様々な形での社会参加を創出するとともに、各地域で開催したタウンミーティングの開催支援等により、高齢者の社会参加を支援しました。

(1) 高齢者社会参加促進事業

「シニア活動推進コーディネーター」を本部及び 5 支部に配置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制を構築し、情報共有を図ることを通じ、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行うとともに、シニア層の様々な取組事例等を情報発信することにより、高齢者の社会参加を支援しました。

▶ コーディネーターの支援による新たな社会参加の主な事例

・地域や市町村、他団体と連携した地域づくり〈JA の空き店舗を活用した居場所づくり、市町村との連携によるシニアの生きがいつくり、地域づくり等〉

・就労支援機関との連携〈ハローワークや県社協人材センターと連携したスモール面接会、再就職セミナー、ふくし現場説明会の開催等〉

・県施策への協力〈信州子どもカフェやコミュニティスクール等へのシニアの参加、移住推進セミナーでの情報発信等〉

▶ 県下 10 地域でのタウンミーティングの開催を支援し、高齢者の社会参加活動促進のための取組を推進（再掲）

▶ コーディネーターの相談件数 延べ 3,512 件

5 センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

- ① 第14回理事会 平成29年5月24日（水）
 - ▶ 平成28年度事業報告、財務諸表等について決議
- ② 第15回理事会 平成30年3月6日（火）
 - ▶ 平成30年度事業計画、収支予算等について決議

(2) 評議員会

- ① 第13回評議員会 平成29年6月13日（火）
 - ▶ 平成28年度事業報告、財務諸表等について決議
- ② 第14回評議員会 平成30年3月22日（木）
 - ▶ 平成30年度事業計画、収支予算等について決議

(3) その他の会議等

- ① 支部事務局次長等会議
 - ア 平成29年4月28日（金）
 - ▶ 平成29年度事業の推進等について協議、意見交換
 - イ 平成29年12月15日（金）
 - ▶ 平成30年度事業概要等について協議、意見交換
- ② 地区賛助会連絡協議会
 - ア 平成29年6月22日（木）
 - ▶ 平成29年度事業の推進等について協議、意見交換
 - イ 平成29年12月21日（木）
 - ▶ 平成30年度事業概要等について協議、意見交換
- ③ 情報誌企画・編集委員会
平成30年1月11日（木）
 - ▶ 平成29年度誌面内容の確認、平成30年度編集方針等について協議
- ④ 2017信州ねんりんピック実行委員会
平成29年4月25日（火）
 - ▶ 実行委員会報告、準備日程等について、確認・協議

(4) 監査

- 監事監査 平成29年5月17日（水）
 - ▶ 平成28年度事業執行状況及び収支決算の状況等について